

## 各種報告

### 各旅客会社

2020年4～6月

### 営業成績

#### JR東日本

2020年4～6月期の連結決算は1553億円の純損失になった。前年同期は915億円の黒字だった。営業損益は1783億円の赤字(前年同期は1446億円の黒字)で、第1四半期決算としては過去最低の営業収益となった。売上高は3329億円(前年比55%減)。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、運輸事業や流通・サービス事業、不動産・ホテル事業が大幅な減収となったことなどにより9期ぶりの減収となった。また、初めて営業損失・経常損失・親会社株主に帰属する四半期純損失を計上した。

#### JR西日本

2020年4～6月期の連結決算は、最終損益が767億円の赤字(前年同期は425億円の黒字)だった。

### 各旅客会社

2020年4～6月

### 営業成績

#### JR東日本

四半期ベースで過去最大の赤字となった。新型コロナウイルス感染症拡大により主力の鉄道事業で利用者が大幅に減少した。売上高は1633億円と前年同期に比べて55%減った。営業損益は942億円の赤字(前年同期は660億円の黒字)だった。主力の運輸部門の運輸収入が721億円と68%減った。外出自粛により非運輸部門でも、流通業などが赤字となった。21年3月期の業績予想は引き続き未定とした。データがある直近の7月第4週(20～26日)では、山陽新幹線の利用状況は前年同期より6割減。お盆期間の指定席の予約状況も8割減と、長距離の列車を中心に利用の低迷が続いている。

#### JR東海

2020年4～6月期の連結決算は、営業損益が836億円の赤字(前年同期は2062億円の黒字)と四半期では初の赤字となった。

新型コロナウイルスの影響で稼ぎ頭の東海道新幹線の利用が急減。百貨店やホテルも軒並み不振で、コロナ禍

で本来は収益を相互補完するはずの関連事業も共倒れした。同社は5つの事業を持ち、不動産業と鉄道車両等製造業が減益、残る3事業は赤字だった。

#### JR九州

2020年4～6月期の連結決算は、最終損益が51億円の赤字(前年同期は123億円の黒字)となった。コロナ禍により鉄道利用客が前年同期比で約4割減少。鉄道に並ぶ主力事業の駅ビルやホテルも不振で2四半期連続で赤字になった。

売上高は38%減の618億円だった。外出自粛の影響から九州新幹線の売上高が76%減り、鉄道収入は65%減となった。駅ビルなど不動産・ホテル事業も休業が続き、営業損益は157億円の赤字(前年同期は154億円の黒字)に転落した。

21年3月期の業績予想の発表は引き続き見送った。7月豪雨で久大線や肥薩線で鉄橋流失や土砂流入があり、700カ所以上が被災。一部路線が運休している。復旧費用も膨らむ見通しで、厳しい経営が続いている。

### JR貨物

コンテナは、新型コロナウイルス感染症による需要低迷の影響を大きく受け、エコ関連物資、積合せ貨物を除く全ての品目で前年を下回った。

紙・パルプは国内需要減少により大幅減となったほか、食料工業品は、外出自粛および現地生産化の影響により、清涼飲料水およびビールの輸送が低調に推移した。

化学工業品・化学薬品は自動車産業向けの樹脂等が減少となったほか、自動車部品は相次ぐ自動車工場の稼働停止および生産調整の影響を受け、前年を大きく下回った。一方、エコ関連物資は、建設発生土や焼却灰などの輸送が順調に推移し前年を上回った。

コンテナ全体では、対前年85.7%となった。

車扱は、石油が外出自粛の影響を受け大幅に減少し、車扱全体では前年比85.0%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比85.5%となった。

## 入院、地震、火災、交通事故… 一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。  
何事も備えあれば憂いなし。  
あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、  
しっかり組み合わせて幅広く保障します。



家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

契約引受団体：明治安田生命保険相互会社

みんなで暮らしをガード  
交運共済  
全国交通運輸労働者共済生活協同組合

第1回「JR連合ビジョン」  
推進委員会を開催

JR連合は、8月3日、大阪市内において開催し、辻村書記長が出席しました。

新型コロナウイルス感染予防を十分に確保した上で、今後の取り組み等を話し合いました。

メロン物販ご協力ありがとうございました。

多くの組合員からご協力を承り、心より感謝いたします。ありがとうございました。

JRグループ労組連絡会第28回総会について

・開催日時 2020年8月28日(金) 13時〜

・開催場所 岡山市内

※新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、開催内容を大幅に変更する場合があります。

熱中症対策をしつかりと行い、体調管理に努めてください。



日本人の寿命は延びても、  
病気や事故はなくなりません。

どんな事故に遭うか、いつ病気になるか、誰にでも予測はできません。その時になってあわてないように、しっかりしたガードが大切。それが家族への責任です。



家族の幸せを大きくサポート

交通災害共済/生命共済/入院共済

契約引受団体：明治安田生命保険相互会社